

## 前期基本計画 平成28年度 基本施策方針書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策：07 効率的な汚水処理施設の整備

<b>主管課長職・氏名</b>	下水道課長 齋藤誠司
<b>関係課長職・氏名</b>	

1. 基本施策の実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	下水道事業と合併処理浄化槽整備補助事業のそれぞれの整備手法の特性を活かしながら、限られた財源の下で採算性を考慮した効率的な汚水処理施設の整備及び水洗化率の向上を図り、市民の快適で衛生的な暮らしと良好な水環境の保全を目指します。
--	---

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 水洗化率(行政区域内人口に対する合併浄化槽も含めた水洗化率) 単位 %	76.7	77.5	78.5	79.5	80.4	81.3	-	
			0	-	-	-	-	0.0	
2	幸福 滝沢市に愛着を持っている人の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
			72.3	-	-	-	-	0.0	
	単位								

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 04070100 環境にやさしく快適な下水道の整備 水洗化率(行政区域内人口に対する合併浄化槽も含めた水洗化率) 単位 %	76.7	77.5	78.5	79.5	80.4	81.3	-	
			0	-	-	-	-	0.0	
2	幸福 04070100 環境にやさしく快適な下水道の整備 滝沢市に愛着を持っている人の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
			72.3	-	-	-	-	0.0	
3	暮らし 04070200 下水道経営基盤の充実 経営資本営業利益率 単位 %	1	△1.1	△1.1	△1.1	△0.7	△0.7	-	
			0	-	-	-	-	0.0	
4	幸福 04070200 下水道経営基盤の充実 滝沢市に愛着を持っている人の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
			72.3	-	-	-	-	0.0	
	単位								

## 前期基本計画 平成28年度 基本施策方針書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策：07 効率的な汚水処理施設の整備

主管課長職・氏名	下水道課長 齋藤誠司
関係課長職・氏名	

## 2. 基本施策の実現に向けての現状を認識する

## (1) 基本施策目標の進捗状況分析

平成26年度末の行政人口に対する下水道供用開始可能人口の割合を表す汚水処理人口普及率は、公共下水道で61.7%、農業集落排水施設で1.7%、合併処理浄化槽や団地ごとの集合処理施設で16.6%で、全体で80.5%となっています。また、これに対し接続工事を行い水洗化されている割合を表す水洗化率は、75.8%となっています。

## (2) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

- ・人口減少や節水型社会の進行による使用料収入の減少、景気の低迷等による接続率や収納率の低下が懸念される中、下水道施設の老朽化による更新事業に備えていく必要があり、国の補助金もこれらにシフトしていくことが見込まれています。
- ・国が示すとおり、これからの未普及地域解消については、時間軸を意識し、概ね10年をめどとする汚水処理施設整備の概成とそれを実現するためのアクションプランの策定が求められています。

## (3) 政策との関連性

効率的な汚水処理施設の整備を推進し、水洗化による快適で衛生的な暮らしと良好な水環境の保全を確保することにより、政策である「ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します」の実現を図ります。

## 3. 基本施策の実現に向けての取り組みを決定する

## (1) 基本施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

- ・公共下水道と合併処理浄化槽の最適配分と工事コストのさらなる縮減を図り、時間軸と採算性を考慮した汚水処理施設の整備を推進するとともに、老朽化が進む既存施設の効率的な整備を目指します。
- ・具体的な戦略として、合併処理浄化槽設置に係る助成拡大、下水道への接続に係る排水設備工事及び既設浄化槽処分費の一部への助成制度の活用を推進し、水洗化の促進及び施設の効率的利用を図ります。
- ・下水道整備は多額の費用を要し、下水道事業の財政基盤の確立には、供用開始後の確実な使用料の回収や徹底したコスト縮減が求められることから、市民へ下水道事業の経営状況について積極的に情報提供を行うとともに、接続率の向上や污水管への雨水侵入防止対策に取り組み、これら不明水による負担の軽減を図り、経営の健全化に努めます。

## (2) 基本計画期間内の取り組みと方針のうち、平成28年度の重点課題

- ・経費及び工事コストの縮減に引き続き取り組みます。
- ・下水道使用料や受益者負担金などの収納率の向上に取り組みます。
- ・前年度に実施した住民との対話を基に、今後5年間～10年間に整備する区域を決定し事業計画の変更を行います。
- ・他の事業に関連する公共下水道工事の実施を進めます。

## (3) 基本計画期間及び平成28年度重点課題に基づく優先順位の考え方

コスト縮減を最優先とし、住民の意向を踏まえた効率的な整備を推進していきます。  
また、持続可能な下水道経営を実現と負担の公平性の確保の観点から、下水道使用料や受益者負担金などの収納の徹底します。

